

札幌大谷大学同窓会

OTANI しんしんかい 真心会

同窓会だより

第44号 令和2年10月1日発行

〒065-8567 札幌市東区北16条東9丁目1番1号

札幌大谷学園百周年記念館内

電話・FAX 011-743-6466

<https://www.sapporo-otani.ac.jp/dousoukai/>

第42回谷の音会コンサート 平成31年4月27日(土) キタラ小ホール





札幌大谷大学 学長 高橋 肇

コロナ禍の中、卒業式と入学式は中止となりました。学園危機管理対策本部は、「生き切れない命は一つもない」という建学の理念のもと、三つの「基本原則」での対応を宣言しました。①

園児・生徒・学生、教職員の命を守ることを第一義とする。②感染は誰にでも起こりうることを前提に、感染者の立場に立った対処をする。感染者の権利を全力で守る。③学園内の情報共有を行い、意思決定過程を明確にする。

コロナ禍の中、二〇一九年度卒業生の就職率は九九・五％（参考：二〇一六年度大学部分九〇・二％）、二〇二〇年度の入学者は総定員三〇〇名のところ三二四名（内訳：大学二一四名、編入学五名、短大九十八名、専攻科七名）でした（一昨年度二四四名、昨年度二八七名）。

四月一日から全学的にオンライン授業の準備を進め、非常勤を含む二六〇名の本学の全教員がこれに対応。学生

の学習権保障を第一義に、実技科目を含むほぼすべての授業科目をオンライン授業として五月七日より新学期を開始しました。

次年度に向けて、①地域社会学科リニューアル、②芸術学部新コース、③対面とオンラインとの授業ハイブリッド化、④学費負担軽減制度の充実に取り組みます。

五月に予定していた第二回ホームカミングデイは、コロナ禍の影響により残念ながら延期となりました。現在のところ、二〇二二年五月頃に開催する方向です。卒業生の皆さまとお会いできるのを楽しみにしております。



札幌大谷大学同窓会 会長 小原 明美
(音楽科14期)

新型コロナウイルス感染者が初めて確認されてから凄まじい勢いで瞬く間に広がったこの状況を誰が予想したでしょうか。

今なお不安な日々が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。いますか。

今年開催予定されてきました「第二回ホームカミングデイ」「令和二年度同窓会総会」（五月十七日）、「谷の会展」（六月九日～十四日）、「キッズフェスティバル」（十月三日）、全てのイベントが中止となりました。

同窓会本部もオンライン会議、また同窓会室で行うさまざまな作業もできるだけ人数をおさえ、窓、ドアを開放し、部屋の換気、除菌から始める徹底的な衛生管理に努めました。

一年延期となりましたホームカミングデイは、二〇二一年五月十六日（日）に「令和三年度同窓会総会」と同時開催が予定されています。また

「第四十三回谷の音会コンサート」は二〇二一年秋に開催で検討中です。

同窓会が設立されて五十七年。これまで長きに渡り「保」「音」「美」各科イベントを開催して参りましたが、二〇二二年に新設された社会学部もあと二年程で開学十周年をむかえます。

「卒業生、在学生が関り継続できるイベントはどのようなものがあるだろうか。」今、考える時期に来ています。社会学部卒業生の皆様の声を是非お聞かせください。

コロナ禍を生きる中、今まで普通に当たり前に行っていた事が行えなくなる不便さ、窮屈さが時間と共に私達の意識を変え、生活スタイルに変化をもたらしました。皆様がこの「新しい日常」を健康に過ごされますよう心からお祈りすると共に、これからも同窓会活動にご理解、ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。



芸術学部学部長
音楽学科長
千葉 潤

平素より大変お世話になっておりま

す。今年一月からのコロナ・ウイルス感染拡大により、三月に予定していた二〇一九年度卒業演奏会や卒業式が中止となり、四年間の大学生活を締めくくる晴れの機会が失われた卒業生には、とてもつらい門出となってしまいました。大学教員として、改めてこのような事態になってしまったことをお詫びいたします。

その後も、二〇二〇年度入学式の中止につづき、新学期もオンラインでの授業やレッスンという慣れない環境での大学生活となり、学生にとつても不安な毎日が続いております。六月からは、個人レッスンや演習授業等を対面形式で実施できるようになりましたが、依然として自宅から授業やレッスンを受けている学生もおり、まだまだ普段の生活に戻ったとはいえません。引き続き、感染予防に努めながらも、学生生活のサポートに教員一丸となつ

て対応してまいります。

さて、音楽学科では二〇二〇年度に七十二名の新入生と三名の編入学生を迎えることができました。中には同窓生のお子様や、教員や指導者になった卒業生の教え子の方々が多数含まれており、改めて同窓会との絆の大切さを実感しております。同窓生の方々におかれましては、引き続き、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



芸術学部 美術学科長
平向 功一

二〇二〇年。本来なら世界中からたくさんの方が集まり、胸躍る東京オリンピックが開催され、北海道の爽やかで最も美しい季節の中、札幌の街をランナーが駆け抜けるはずでした。しかし予想もしていなかった新型コロナウィルスの世界的な蔓延。二〇二〇年の半分を過ぎた現在も感染が収まる気配はありません。

大学もかつて経験をしたことのない対応の連続でした。卒業式や入学式の中止。たくさん入学してくれた学生たちに対し新入生オリエンテーションも満足にできない状態。オンライン授業の準備。我々教員にとつて初めての経験の連続。

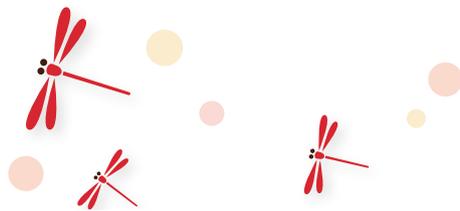
学生たちのPCやWi-Fi環境を確認し、サポート体制を整えて五月七日から手探りではありましたがすべての講義がオンラインでスタート。そして六月十五日から実技系の講義の再開。ソーシャルディスタンス、除菌、時間差、分散。あらゆる配慮をしての再開でした。感染の不安からオンライン対応を継続する学生もおりましたが、久しぶりに大学で制作する学生たちの楽しそうな姿を見て少し

安心しました。当たり前だったはずのキャンパスで学生たちが活動する姿が一瞬にして当たり前でなくなる怖さをまさかここ二年で地震とコロナと続けて経験するとは考えてもいませんでした。

この困難な状況からこれからの課題もたくさん見えてきました。一気に進んだオンライン化はこれからの新しい時代の教育の在り方を投げかけられたような気がします。

創造力とは新しいものを創り出す能力を指します。美術は創造力を育てる分野で課題解決の能力を培う一面をもっています。何か問題が起きたとき、どうやってその問題を解決していくのか、方法や手段をどうするのか、材料や道具はどうするのか。古い時代からそのスタンスは変わりません。美術に関わる学生、教員すべての人がこの新型コロナにより、新しい時代や社会を構築するチカラを試されているかのようです。

ピンチをチャンスに。今後とも温かいご支援をうけたまわりますようよろしくお願い申し上げます。





社会学部学部長
地域社会学科長

西脇 裕之



短期大学学部長
保育科学科長

中澤 香織

同窓会の皆様には社会学部開設当初より多大なご支援をいただき、まことにありがとうございます。三月に五期生四十五名が実社会へと巣立っていき、おかげさまで学部開設から五年連続で就職率一〇〇%を達成いたしました。こうした実績の積み上げが「就職に強い、札幌大谷社会学部」という評価の定着につながってくればと考えています。

手法を通じて地域社会の課題を解決していくソーシャルビジネスの自主的な勉強会も七月から始めています。連休明けからオンラインのみで始めた授業も、六月半ばからようやくゼミなどの授業は原則として対面で実施できるようになり、本学科の少人数教育のメリットを活かせるようになりました。学生一人ひとりを大切に育てつつ、今後も改革に取り組んでまいりますので、引き続き温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新入生は編入学生も含めてこれまでで最多の六十一名を数えました。今年の新入生の特徴は、新しい入試制度である総合型選抜を受験して入学した学生が二十二名と多いことでしょう。この制度はオープンキャンパスでフィールドワークやグループワークに参加して地域課題発見レポートを作成した上で面談に臨むという、本学科の学習を先取りしつつ入学後の学習への接続を図るものです。こうした入学意欲の高い学生たちを対象として、ビジネスの

同窓会の皆様には日頃から本学を温かく見守り、また多くのご支援をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。保育科は今年三月に、例年同様多くの保育者を社会へ送り出しました。内訳は、幼稚園二十四名、保育所三十三名（公務員保育士六名）、認定こども園十八名、保育所以外の児童福祉施設二名です。また八名が本学専攻科等へ進学し、一般職に八名が就職しました。在学中、学内外の多くの方々から学びを得て着実に力をつけた卒業生が、各地域で子どもと子育て家庭を支える仕事に就いていることはこの上ない喜びです。

さて今年度は九十八名の新入生を迎えましたが、コロナ禍のものとのスタートでした。春休みの終盤、ぷりてい劇場の練習を再開する時期に緊急事態宣言による行動自粛が始まり、学生たちの生活は一変しました。授業や実習をはじめアルバイトや生活のことなど、

学生の不安は大きかったと思い、大学がどこまで対応できていたのか検証するところです。遠隔で授業を行うための準備期間を経て、五月七日から開始したオンライン授業では、通信機器の操作、通信環境の整備など、学生も大学も試行錯誤の連続でした。そのなかで捉えることができたのは、困難な状況下でも真摯に学ぶ学生の姿でした。学びを続けられることに感謝する声、直接会えない人たちを思いやる心、不便や不安を軽減又は解消しようと工夫していく様など、本当に学生の持てる力を感じる数カ月でした。現在は夏から始まる実習に向け、さらに感染防止に努めている毎日です。同窓生の皆様をはじめとした多くの現場からのご支援で成り立っている教育です。

今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(4)



釧路支部



「今の思い」
支部長 泉 洋子
音楽科12期

まずは皆様このコロナ禍の中、如何お過ごしでしょうか。お変わりなくお暮らしてであろうと心より念じます。こちらも今のところ、変わらず過ごせる事に感謝しつつ、たいへんな思いをされた方々もあろうと、心痛む日々が続いております。すべての人々に心安らぐ日が、一体何時訪れるのか、神のみぞ知ることなのでしょう。何れにしても平常心を忘れず、注意深く生活しなければなりません。支部といたしましても、この状態では活動もままならず、すべての活動は停止しており、まさに先が見えない毎日が続いております。支部総会も中止になりましたので、審議内容、議決事項等につきましては、事前の幹事会での話し合いと委任状で、ご理解いただく事にいたしました。

これまでに経験したことのない事象に随分と振り回された感がありますが、終息という言葉が聞ける日まで、丁寧日々を過ごさずしかなさそうです。

まずは心が元気である事。支部としましても出来ることから始めて参りたいと思います。

十勝支部



「移り行く日々の中で」
支部長 植松 恵
音楽科13期

年月の流れは早いもの、いつも感じておりましたが、今年は特にそう思います。年明けと同時に新型コロナウイルスの感染が始まり、日常というものが様変わりしてしまいました。同窓会活動においても本当に何もできない状態になりました。

昨年十二月に池上恵三先生、一月には中嶋義明先生の訃報をお聞きしましたが、お別れの会もできなく残念に思っております。

十勝支部でも総会はもちろんできず、六月にやっと役員会を開き、総会議案書をまとめた次第です。今後の活動がどのようになるのか見当もつかない状態ですが、新型コロナウイルスの終息を願うとともに、こんな時こそ同窓会としての縦横のつながりを更に大事に行きたいと思っております。

十勝支部では昨年十二月に『響流コンサート』が、大学より谷本聡子先生、グレヴ・ニキティン先生をお迎えして同窓生とともに、六花亭帯広本店四階のはまなしホールで開催されました。ソロ、連弾、アンサンブル等、お越しいただいたお客様に喜んでいただいた演奏会となりました。大学主催の演奏会ではありませんでしたが、支部としても精一杯のサポートをさせていただき大変貴重な時間でした。

支部は、来年度、設立十五周年を迎えます。節目として意義のある周年行事を役員で検討しているところです。このご時世の中、制約されることは多いと思いますが、大学、同窓会本部のご協力のもと有意義なものとしたいと願っております。

オホーツク支部



「今年度のオホーツク支部では」
支部長 横島 桂子
音楽科19期

昨年度は年四回の幹事会、五月に支部総会、十二月にはお客様に無料でご来場いただけるロビーコンサートなどの活動を行いました。今年度は新型コロナウイルスの影響により幹事会は未定、支部総会も本部に見習い中止と致しました。

総会につきましては、どのようにしたらよいのか考えました結果、オホーツク支部会員全員に、ご案内ではなく総会資料をお送りし、委任状は葉書にて返信していただき、返信のない場合は賛同していただいたものとする事をお伝え致しました。

今年度の活動については未定ですが、ここ数年行っているロビーコンサートは、出演者の練習、お客様の動員など「密」を考慮し、中止を考慮しています。

オホーツク支部会員は役員をはじめ、それぞれが元気で仕事など再開されているようです。

皆様もお身体を大切にどうぞお元気でお過ごしください。

輝いて今……

各科のなかまたち

「変わらなう思う」



武田 麻未 保育科40期

新卒の頃、「幼稚園の先生という仕事は、小説のように読んでいくうちに楽しくなっていくものですよ」と園長先生が話されたことが今でも私の心に強く残っています。

初めてクラスの子どもたちの前に立った時の緊張感、「先生」と呼ばれる不思議な感覚は忘れられません。保育に悩みながら、色々なことを学んだ日々は、楽しさを味わう余裕もなく、全速力で駆け抜けていました。職員室で先輩から保育への思いを教わったり、休みの日、同僚と共に製作に使う落ち葉を拾いに行ったり、いつも保育のことで頭がいっぱいでした。失敗の連続ではありませんが、頑張ることができたのは、周りの方々の温かい支えがあったからです。

幼稚園に対するニーズも変化し、平成二十九年、本園も認定こども園に移行しました。保育時間が長く

なり、職員が増えシフトで動くなど、体制の変化はありましたが、豊かなアイデアで保育の幅が広がり、とても勉強になります。また、園児や保護者の方には今まで以上に細やかな配慮が必要だと感じます。変化していく社会環境の中で求められる役割を考え、これからも人との出会いに感謝し、子どもの心に寄り添い歩んでいきたいと思えます。

「時の移ろい」



今野くる美 音楽科33期

早いもので短大を卒業してから二十年以上が過ぎました。今でもお世話になっています恩師との出会いは、私にとってかけがえのないものとなりました。音楽はもちろんの事、演奏家としての姿勢、指導者としての姿などたくさんのお話を学ばせて頂き、すべての事が確実に今に生きています。感謝の気持ちで一杯です。

そんな貴重な時を過ごした場所ですが、新しい校舎が建つなど、随分様変わりし、校舎に足を踏み入れると時の移ろいを感じます。でも、昔の良きもの、大切なものは守りつつ、進化していく…現在、私は

数年前に開設された大谷学園附属の音楽教室でピアノ、リトミック、ソルフェージュの講師をさせて頂いております。学生の頃、ソルフェージュなどの勉強をした教室は今も変わらず使われており、その教室で自分が小さい子供たちにレッスンしているのは、なんと不思議な感じがします。将来、この教室からたくさんのお後輩が出てくれたら、何より嬉しいです。

こうして卒業後もご縁を頂き、大谷と繋がっていただけることに幸せを感じます。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

「積み重ねと挑戦の日々」



引地 玲 美術科44期

私が大谷で過ごした二年間は、人生において特に濃密な時間でした。表現の追求だけでなく、社会での自分の役割を考える助走期間だったと言っても過言ではありません。短い学生生活の中で特に印象深い体験は、お声かけいただき似顔絵師としてイベントに参加したことです。全くの未経験で目の前にいる方を限られた時間内に描いて形にし、お渡しするという初めての挑戦に、「自分にできるのか？」と緊

張しながらも充実を感じたものです。卒業後は金融機関に勤め、さまざまな業務を経験しました。挫けそうな時も「積み重ねた毎日が未来を変えていく」と信じて進む日々でした。それは、大谷で過ごした学生生活で体感的に根付いた価値観です。作って壊して徐々に形になっていく作品のように、途中経過を楽しみ感性で挑戦できるようにしたのは、大谷時代に培ったチャレンジ精神のおかげです。その後転職を考えた際も、真にやりたいことのために臆することなく動き出せたように思います。いま私はアートを取り入れた自分のネイルサロンを経営しています。大谷での学びの日々は人生のいろんな局面で、夢を現実化していくための勇気を呼び起こしてくれています。

「一年を振り返って」



狩野 智滉

地域社会学科4期

緊張と不安の就職活動から早二年が経とうとしています。今や僕も入社二年目の先輩社員となり、仕事にも慣れ、新入社員の指導も行うようになりました。またお客様と直接接する機会も段々と増え、か

つての先輩社員がやっていたような難しそうな仕事にも取り組むようになりました。

現在の主な仕事は配達業務で、毎日八十人のお客様のもとに商品を運んでいます。体力が必要であると同時に、他の配達業者と違い、毎週同じお客様の元に同じ配達員が行くという形式から、日頃からのコミュニケーションも重要視される仕事だと言えます。

大学を卒業して一年間働いていると、講義やゼミ活動で培ったコミュニケーションの技術や経験、在学中に得たスキルが仕事に活かされていることを実感します。また講師の先生が言った小ネタや豆知識がお客様との話の種になることも多く、実際お話しした後、関連した商品を買っていただく等実績にも繋がっています。

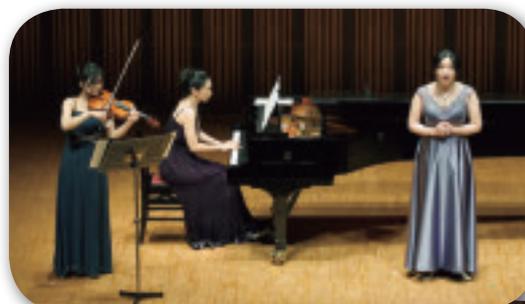
情報には敏感に、パソコンと新聞と文献と、あらゆる情報と睨めっこをしていた大学四年間が今の社会人としての自分を作っています。この経験を無駄にしないためにも、今の会社でさらなる経験を積み、より多くの人々に貢献できたらと思います。

新校舎 (A棟)

本学旧北棟校舎建替えにより、2019年3月、札幌大谷学園百周年記念館事務局横に新校舎 (A棟) が完成しました。全室冷暖房完備の新校舎は鉄筋5階建て。演習 (ピアノ練習) 室7部屋をはじめ、演奏室、実習準備室、環境実習室、図工室、子育て支援実習室、講義室など保育科の学修に合わせた教室が並び、玄関から階段側はガラス張りで、明るく開放的な空間となっています。



第 42 回谷の音会コンサート 平成 31 年 4 月 27 日 (土) キタラ小ホール



図書館について

札幌大谷大学図書館は、記念棟 1 階の本館です。

現在、新型コロナウイルス感染防止対策のため、同窓生の利用はできなくなっています。

利用の再開など最新の情報は大学のホームページをご覧ください。

開館時間

月～金曜日	9:00～19:00
土曜日	9:00～16:30
長期休暇中	9:00～16:00

閉館日

※日曜日、国民の休日、年末年始及び大学の定めた休日。その他、学校行事等の都合で臨時閉館または開館することがあります。



会費の納入方法について

※平成 26 年度より
改正になりました

【平成 26 年 4 月 1 日入学生から】

終身会費 20,000 円は納入済みですので、今後納入していただく会費はありません。

振込用紙の金額欄は「*****」となっています。

【平成 25 年度以前の卒業生】

会費納入について ① ②のどちらかを選択してください。

① 終身会費 20,000 円を納入

振込用紙の金額欄に 20,000 円とご記入の上、納入してください。

一度納入していただいた方の振込用紙の金額欄は「*****」となっていますので、終身会費の再度の納入、年会費 1,000 円の納入の必要はありません。

② 年会費 1,000 円を毎年納入

振込用紙の金額欄に 1,000 円とご記入の上、納入してください。

複数年分を一度に納入して次年度以降の会費とすることはできません。

複数年分を納入していただいても返金することはできませんので、ご注意ください。

振込用紙は、同窓会日より郵送時の宛先を兼ねております。

そのため、平成 26 年 4 月以降に入学された方および終身会費を納入いただいた方にも同封されます。

すでに終身会費を納入していただいた方には、振込用紙の金額欄に「*****」と記載されております。今後会費を納入していただく必要はありません。

同窓会の会計は、4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までを今年度とします。

会費を納入される際は、納入時期にご注意ください。

例) 10 月 1 日に 1,000 円を納入、翌年 1 月 31 日に 1,000 円を納入の場合、同じ年度に 2 度納入していただいたことになります。次年度分として取り扱うことはできませんので、納入時期にご注意ください。

同窓生数

同窓生数計	14,793 名
保育科	5,433 名 (専攻生含む)
芸術学部音楽学科	5,293 名 (旧音楽科、音楽学部、芸術学部、研究生含む)
芸術学部美術学科	3,848 名 (旧美術科、芸術学部、専攻生含む)
社会学部地域社会学科	219 名

令和 2 年	4 月 7 日 (火)	大学・短期大学部 入学式…中止
	5 月 17 日 (日)	「第 2 回ホームカミング グレイ」…中止
	6 月 9 日 (火)	「谷の会展」…中止
	10 月上旬	第 44 号同窓会だより 「OTAN」発行
令和 3 年	10 月 3 日 (土)	「キッズフェスティバル」…中止
3 月 13 日 (土)		卒業式出席予定

令和 2 年度
事業ならびに活動予定

訃報

池上恵三先生 (享年 86 歳)

2019 年 12 月 6 日 ご逝去

中嶋義明先生 (享年 86 歳)

2020 年 1 月 11 日 ご逝去

謹んでお悔やみ申し上げます。

同窓会ギャラリー 本学食堂に展示



「花輪の少女たち」



「風にのって」

引地 玲 (美44) 平成21年度 前期展示

2019年度収支決算書

(2019年4月1日~2020年3月31日)

収入 14,881,959円
支出 8,248,934円
差引残高 6,633,025円 (翌年度繰越金)

札幌大谷大学同窓会真心会

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
入会金	2,340,000	2,760,000	△420,000	大学 175名 短期大学部 101名
会費	3,360,000	5,751,000	△2,391,000	在学生(242名) 4,830,000円 卒業生 921,000円
雑収入	200,000	436,042	△236,042	コンサートチケット代 378,000円 懇親会等 58,000円 預貯金利息 42円
前年度繰越金	5,934,917	5,934,917	0	
合計	11,834,917	14,881,959	△3,047,042	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
同窓会便り発行費	450,000	365,904	84,096	第43号印刷費(7,700部)
同窓会便り発送費	900,000	819,144	80,856	// 発送費(7,700通)
消耗品費	220,000	21,480	198,520	事務用品等
活動費	600,000	172,780	427,220	役員活動費、交通費
通信・連絡費	250,000	150,611	99,389	総会案内、資料発送費、電話代
印刷費	400,000	181,926	218,074	総会案内印刷、封筒、コピー代
会議費	400,000	287,723	112,277	総会、役員会等費用
慶弔費	200,000	88,760	111,240	入学式・各学部及び支部祝花・香典・供花
補助費	500,000	210,000	290,000	各支部会員数別加算費
データ管理費	80,000	54,000	26,000	名簿データベースメンテナンス
卒業記念品	500,000	298,200	201,800	平成30年度卒業生名簿、卒業記念品
支部関連費	500,000	39,810	460,190	支部会議・交通・宿泊費等
行事費	500,000	438,386	61,614	谷の音会コンサート
備品費	100,000	0	100,000	
雑費	1,234,917	120,210	1,114,707	振込手数料、その他
積立金	5,000,000	1,500,000	3,500,000	
寄付金	0	3,500,000	△3,500,000	奨学金分として大学へ寄付
合計	11,834,917	8,248,934	3,585,983	

編集後記
新型コロナウイルスの収束がまだ見えない状況が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。今年も皆様のお手元に同窓会だよりをお届けできます事を大変嬉しく思います。

- 名誉会長 高橋 肇 (学長)
- 役員
- 会長 小原 美 (音14期)
- 副会長 佐藤 潤子 (美12期)
- 副会長 藤川 絵里子 (保28期)
- 副会長 山口 由美 (保19期)
- 副会長 森谷 直美 (音33期)
- 書記 長尾 愛 (保29期)
- 書記 今野 くる美 (音33期)
- 書記 齋藤 真由子 (美44期)
- 書記 佐武 美香 (保24期)
- 会計監査 引地 玲 (美44期)
- 会計監査 泉 洋子 (音12期)
- 支部長 植松 恵 (音1期)
- 支部長 横畠 桂子 (音19期)
- 支部長 オホーツク支部長

令和2年度真心会本部